

# 令和元年度 鹿児島キャリアデザイン専門学校 学校関係者評価

## 1 学校関係者評価

### (1) 教育理念・目標

4 大変評価する 3 やや評価する 2 やや不十分 1 不十分

評価	関係者意見
3.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学内向けと、学外向けで対応を考える。</li> <li>・当院の場合、名刺裏面に印刷、そして封筒の裏面に印刷。</li> <li>・理念はどうしても抽象化した表現になってしまっているので、より具体的な表現で理解を促すように研修を行っている。</li> <li>・知名度は向上しているか、学生確保につながっているか、評価を忘れずに。</li> </ul>

### (2) 学校運営

4 大変評価する 3 やや評価する 2 やや不十分 1 不十分

評価	関係者意見
3.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的な取り組みを評価したい。</li> <li>・働き方改革は時代の流れとして進めていただきたい。「変形労働時間制」の導入は良いことと思う。</li> <li>・中長期の事業計画が必要。</li> <li>・残業時間の「見える化」で意識を高く持ってもらおう。</li> <li>・中長期の事業計画を作り、それを基に単年度計画を作っていく。</li> <li>・中長期計画は作られているか。中長期の将来像は必要ないか。</li> </ul>

### (3) 教育活動

4 大変評価する 3 やや評価する 2 やや不十分 1 不十分

評価	関係者意見
3.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集合研修に加え、Web等のリモートセミナーを積極的に取り組んでいることを評価したい。</li> <li>・リモート研修以外の研修(実習)も必要。</li> <li>・事業計画の中で、研修計画を組み込んでいく。</li> <li>・リモート研修の拡張 → 旅費がかからないので、大人数を参加させられる。</li> <li>・全員が受けた方が良い研修は、講師の方に来てもらうよう交渉する。</li> <li>・1～12を系統的取り組みとして向上を目指してほしい。</li> <li>・研修は管理職マターで長期ビジョンに沿ってやるべき(個人のスキルアップにとどまるような内容は)</li> </ul>

### (4) 学修成果

4 大変評価する 3 やや評価する 2 やや不十分 1 不十分

評価	関係者意見
3.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業生の評価がどうか、再確認を。</li> <li>・キャリアセンターの役割は大きいと思う。</li> </ul>

### (5) 学生支援

4 大変評価する 3 やや評価する 2 やや不十分 1 不十分

評価	関係者意見
3.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業生の活用を考えてほしい。</li> <li>・OG、OBの有効活用を。</li> <li>・多様化している学生をよく育てておられると思う。</li> </ul>

## (6) 教育環境

4 大変評価する 3 やや評価する 2 やや不十分 1 不十分

評価	関係者意見
3.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現場の機材は日々進化しているので、費用対効果のある選択を。</li> <li>・デジタル教科書の普及がどこまで進むのか。</li> <li>・老朽化対応は、やはり中長期計画を作るべき。</li> <li>電子対応は、法人運営で教員には関係ないが、見える化を図るべきでは。</li> </ul>

## (7) 学生の受け入れ募集

4 大変評価する 3 やや評価する 2 やや不十分 1 不十分

評価	関係者意見
3.8	

## (8) 財務

4 大変評価する 3 やや評価する 2 やや不十分 1 不十分

評価	関係者意見
3.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短期、中期、長期の計画で環境を整える。</li> <li>・公開について、経営戦略上公開しないものもある。</li> </ul>

## (9) 法令等の遵守

4 大変評価する 3 やや評価する 2 やや不十分 1 不十分

評価	関係者意見
3.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PC画面のフィルターについても検討してほしい。</li> <li>個人情報取り扱いは、生徒の意識にも影響してくると思われる。</li> </ul>

## (10) 社会貢献・地域貢献

4 大変評価する 3 やや評価する 2 やや不十分 1 不十分

評価	関係者意見
3.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生のやる気をできるだけ取り込める工夫を検討。</li> <li>・地域に根ざした貢献を。</li> <li>・学科のバラツキをどう改善するか、もっと広げるべき。</li> <li>依頼に応えるのでなく、学校から、学生から自主的参加が理想。</li> </ul>

## (11) 国際交流

4 大変評価する 3 やや評価する 2 やや不十分 1 不十分

評価	関係者意見
3.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大変難しいが頑張って欲しい。</li> </ul>

## 2 学校関係者評価委員のご意見に基づく改善方法

- (1) 「心の持ち方を共に学ぶ」という学園理念のもと、事業計画について、『これまでの取組みを一新して、新たにチャレンジする取り組みを！』と、学科毎に3年後を見据えた中期計画を立て、職員全員が同じベクトルで意思統一を図り、目標の達成を目指す。令和2年度は、働き方改革の推進による規則改定に伴い、学園本部による『就業規則』説明会を実施し、職員への周知を行った。また、規則や規程等については、必要なものは新たに作成し、改定の都度、電子媒体等で周知を図るとともに、いつでも閲覧可能とし、業務効率の向上を図るなど、全職員が無理無駄のない働き方となるよう環境の整備や業務改善を行う。(2.学校運営)
- (2) 業界のニーズに沿った教育課程の編成やカリキュラム等の見直しについて、学科毎に設置された教育課程編成委員会の意見を率直に受け入れ、検討を重ねることにより、時代に即したものとなるよう、インターンシップをはじめとする実習等の成果に期待し、今後とも研鑽に心掛ける。職員の研修については、専門的な知識・技能等を修得するための研修は各学科で、指導力育成などの資質向上に係る研修については教務が中心となり計画している。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症予防対策により、中止となる研修も多かったが、3密に該当する対面での研修の代わりにリモートでの研修の機会が増えたことにより、対象者だけでなく、多くの職員が受講することができたことは有益であった。今後は、このようなリモートでの研修の機会が増えることを期待し、アンテナを高めて情報を収集し、可能な限り多くの職員が受講できる研修を計画していく。(3.教育活動)
- (3) 教育環境については、新型コロナウイルス感染症予防対策を発端として、遠隔授業の必要性が問われている。令和2年度に実施した遠隔授業においては、機器環境の不備な学生に対し、可能な限り学校のパソコン(PC)を貸出したが、学生側の通信環境や使用機器の不具合が遠隔授業のネックとなった。本校は、各学科が必要とする専門性の高いスペックのPC環境(殆どがデスクトップ型)を、一人1台占有して使用できるように、毎年予算計上し整備を進めてきたが、今後は、遠隔授業を円滑に実施できるように、学生側の環境を含めた検討をさらに進めていきたい。校舎環境については、段階的に蛍光灯照明をLED化する計画を進めるとともに、防災管理も抜本的に見直し、危機管理マニュアルを再構築する。(6.教育環境)
- (4) 財務については、学園全体の財務状況や事業報告書等をホームページで公開しているが、学校全体の財務となると職員による評価が難しく、評価を控える傾向も見受けられる。本校には多様な学科があり、各学科の必要機器等は、毎年それぞれの学科に応じた周期で新規購入や更新をしてきた。学校全体の収支に対する意識を高め、今後は、中長期の事業計画に則った設備投資を行っていく。(8.財務)
- (5) 学校全体に関わるボランティア依頼については、学内システムを通じて全学生に告知しているが、協力する学生は一部である。ボランティアには、各自の特技を活かしたものと、勤労奉仕的なものの2種類があり、どちらの精神も伝えていく必要がある。本校の社会貢献・地域貢献としては、医療系が実施している地域清掃ボランティアや、地元のお祭り等にスタッフとして参加・協力している複数の学科もあり、このような活動が地域との連携に繋がると考えている。より、活動を啓発するために、依頼のあったものを学生に奨励し、如何に社会貢献・地域貢献するために支援するか、ボランティア支援センターが設置されている鹿児島大学等に連携を呼掛けるなど、前向きに検討していきたい。なお、特定学科に対する各種イベントへのボランティア依頼(TV映像音響科の音響照明・撮影等、こども学科の絵本読み聞かせ等、ビューティ・ウェディング科のハンドマッサージ等)は、該当学科担当教員から学生に告知され、専門学校ならではの「現場実習体験」として積極的に参加活動し、大変喜ばれている。今後とも、このことは学校全体で取り上げ、全学生に活動を奨励啓発していく。(10.社会貢献・地域貢献)

## 3 学校自己評価

### (1) 教育理念・目標

4 大変評価する 3 やや評価する 2 やや不十分 1 不十分

	評価項目	評価
1	学校の理念・目的は定められているか	3.8
2	社会のニーズ等を踏まえた学生の将来構想を抱いているか	3.3
3	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3.1
4	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3.3
課題	「心の持ち方を共に学ぶ」という学園理念のもと、「専門性を高め、当たり前が当たり前でできる人材」の育成に日々努めているが、関係業界の様々な業態に対応できるような柔軟性が必要である。	
改善策	学校評価委員会と教育課程編成委員会を通じた関係業界との更なる連携強化を図るとともに、社会の多様化に即応できる人材育成に努める。また、そのことを踏まえ、機会あるたびに学生・保護者等への発信を今後も継続していく。	

### (2) 学校運営

4 大変評価する 3 やや評価する 2 やや不十分 1 不十分

	評価項目	評価
1	学園の運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3.3
2	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3.2
3	人事、給与に関する規程等は整備されているか	3.1
4	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3.4
5	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3.3

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営に対する教職員の意識は徐々に高まりつつあるが、全体的に不十分である。</li> <li>・人事、給与に関する規定等は整備されているが、職員に対する周知が不十分である。</li> </ul>
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人的には意識されているが、地域に根ざした特色ある専門学校を構築すべく、各学科・学校全体としての取り組みを推進する必要がある。</li> <li>・就業規則については、働き方改革に伴う2020年度の規則改定に伴い、学園本部職員による説明会を実施し、職員への周知を行った。また、規則や規程等については、新たに作成、または改定の都度、電子媒体等で周知を図るとともに、いつでも閲覧可能とし、利便性の向上を図った。</li> </ul>

(3) 教育活動

4 大変評価する 3 やや評価する 2 やや不十分 1 不十分

	評価項目	評価
1	業界のニーズに沿った教育課程の編成を行っているか	3.2
2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3.2
3	学科等のシラバスは体系的に編成されているか	3.3
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3.2
5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3.1
6	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	3.3
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	3.2
8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3.4
9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3.6
10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3.2
11	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	2.9
12	職員の能力開発のための研修等が行われているか	3.0
課題	専門学校として、各学科に即応した先端技術等を修得するための研修や、資質向上のための取組みが不十分である。	
改善策	各科、系統ごとに参加したい研修等を明確にし、年度初めに研修計画を作成する。ただし、年度途中で告知のある研修や講演会等についても、知識・技能の習得に有益なものである場合、柔軟に対応し、可能な限り学びの機会を増やすよう努める。	

(4) 学修成果

4 大変評価する 3 やや評価する 2 やや不十分 1 不十分

	評価項目	評価
1	就職率の向上が図られているか	3.7
2	資格取得率の向上が図られているか	3.2
3	就職先企業を訪問するなどして卒業生の実態を把握しているか	3.4
課題	おおむね良好である。	
改善策		

## (5) 学生支援

4 大変評価する 3 やや評価する 2 やや不十分 1 不十分

	評価項目	評価
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3.9
2	学生相談に関する体制は整備されているか	3.3
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3.6
4	課外活動に対する支援体制はあるか	3.2
5	経済的支援制度利用についての情報提供を行っているか	3.4
6	必要に応じて保護者との連携が図られているか	3.1
7	卒業生への支援体制はあるか	3.5
8	高等学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3.4
課題	・就職に関する支援体制は整備されているが、卒業学年で就職を希望しない学生や就職活動に消極的な学生への支援の在り方に、更なる工夫が必要である。	
改善策	・就職活動に消極的な学生には、インターンシップ等を勧め、「職業観」、「勤労観」の高揚に努めていく。	

## (6) 教育環境

4 大変評価する 3 やや評価する 2 やや不十分 1 不十分

	評価項目	評価
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	2.9
2	学内外の実習施設、インターンシップ等について十分な教育体制を整備しているか	3.2
3	防災訓練を定期的実施しているか	3.3
課題	校舎の老朽化に対し、学生の満足度向上をどのように図っていくか検討する。	
改善策	令和元年度は本館、マルチホールの教室等の蛍光灯照明をLED化し、省エネと学習環境の整備に努めた。まだLED化されてない多種多様な照明については、段階的にLEDと交換する計画である。	

## (7) 学生の受け入れ募集

4 大変評価する 3 やや評価する 2 やや不十分 1 不十分

	評価項目	評価
1	学生募集活動は適正に行われているか	3.5
2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3.4
3	授業料等、徴収する金額はすべて明示しているか	3.8
課題	おおむね良好である。	
改善策		

## (8) 財務

4 大変評価する 3 やや評価する 2 やや不十分 1 不十分

	評価項目	評価
1	学校の収支のバランスは取れているか	2.7
2	予算編成は教育目標・業務計画と整合性があるか	3.1
3	財務について会計監査を適切に実施しているか	3.3
4	財務の情報公開はされているか	3.4
課題	・限られた学校予算の中で、学科間の予算配分に苦慮している。	

改善策	<ul style="list-style-type: none"><li>・学習に必要となる機器等の購入(入替)については、学科間で年度が重ならないよう、3～4年後を視野に入れ、時代に即した環境を整える。</li><li>・財務の情報公開に関しては、今後も学園本部(財務担当)と連携しながら公開する。</li></ul>
-----	---

## (9) 法令等の遵守

4 大変評価する 3 やや評価する 2 やや不十分 1 不十分

	評価項目	評価
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3.4
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3.2
3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3.4
4	自己評価結果を公開しているか	3.6
課題	個人情報の取扱について、各個人の意識が十分とは言えない場合がある。	
改善策	個人情報の取り扱いに特化した学内の研修会を実施する。	

## (10) 社会貢献・地域貢献

4 大変評価する 3 やや評価する 2 やや不十分 1 不十分

	評価項目	評価
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3.3
2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	2.7
3	地域に対する公開講座やイベント支援等を積極的に実施しているか	3.3
課題	ボランティア活動の奨励、支援に対しては実施しているが、取り組みについては、学科間でばらつきがある	
改善策	学生が積極的にボランティアに取り組んでいけるよう、学科間で連携を図りながら、協力していく。	

## (11) 国際交流

4 大変評価する 3 やや評価する 2 やや不十分 1 不十分

	評価項目	評価
1	留学生の受け入れを行っているか	3.5
2	留学生の受け入れ、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	3.4
3	留学生の学修・生活指導等が適切に行われているか	3.2
課題	おおむね良好であるが、留学生受け入れの為に広報体制がやや不十分である。	
改善策	広報体制については、学園本部(経営企画室)と連携しながらの抜本的な見直しが必要である。	